

平成20年度第1回石狩市地域公共交通会議議事録

日時

平成20年9月1日(月)13:30~14:20

場所

市役所本庁舎2階201会議室

出席委員

佐々木会長(石狩市企画経済部長)、小林副会長(札幌運輸支局首席運輸企画専門官)
平委員(北海道石狩支庁地域振興部地域政策課長)、小野寺委員(厚田区自治連合会副会長)

代理出席者

有路委員(北海道中央バス(株)札幌事業部次長):代理出席者 研谷氏

河上委員(浜益区御料地自治会長):代理出席者 神田氏

波方委員(北海道地方交通運輸産業労働組合協議会副議長):代理出席者 阿部氏

石狩市地域公共交通会議設置要綱第3条第3項に基づく出席者

浜益交通運輸(有)代表取締役森山貞雄氏、(有)深瀬産業代表取締役深瀬敏文氏(付添)

傍聴者

1名

議事事項

報告 (1)平成19年度石狩市自家用有償旅客運送利用実績について

(2)要綱の一部改正について

議題 (1)自家用有償旅客運送の更新登録について

発足スクールバス 浜益スクールバス 浜益乗合自動車

(2)その他

報告の概要及び質疑内容

「(1)平成19年度石狩市自家用有償旅客運送利用実績について」を資料1により説明。

事務局(説明)

厚田区:バス2台、浜益区:バス2台・ワゴン車1台の計5台で有償旅客運送を実施。

全体として、スクールバスについては、7月・8月・1月の利用が少なく、その要因としては、夏休み、冬休みの影響と考えられる。

【発足スクールバス】の利用実績

一般の利用実績としては、1日平均で2~3人程度の往復利用。

主な利用目的は、買い物や支所・クリニックなどへの利用。

【厚田スクールバス】の利用実績

本スクールバスについては、対象となっていた浜益高校生が卒業し、その後浜益高校への通学生が現れなかったことから、平成19年度を以って廃止としている。

【浜益スクールバス】の利用実績

往復の通学で1日平均約107名。

一般の利用実績としては、1日平均約54名。

主な利用目的は、診療所への通院が圧倒的に多い状況。

【浜益乗合自動車】の利用実績

利用実績としては、1日平均10.6人。

主な利用目的は、滝川市内への通院が多数を占めている。

以上の実績報告に加え、市での有償運送前の「路線バスの利用者数」と、平成19年度の「スクールバス及び乗合自動車の利用者数」の比較を説明。

全体の比較結果として、年間バス利用者数は、5,518人の減となっている。

その内訳については、浜益区内移動利用者が143人の増となっているが、滝川方面への移動利用者数は、1,287人、浜益区外への利用者数は4,373人と、ともに減となっている。

小野寺委員

収入は市の収入ですか？

事務局

市の収入になります。

浜益交通運輸

市であろうと、委託して収入を得て運行するということは、自家用ではなく、青ナンバーの許可を得て運行するべきだと思う。どのような理由で許可となったのか、お尋ねしたい。

事務局

市町村有償運送ということで運輸支局の方へ79条登録を行い、自家用の車両での運行許可を頂いている。

運行形態については、浜益区内で滝川へ行かれる方のみを対象とし、区内移動には使えない。

小林副会長

市町村有償運送を行う場合は、公共の福祉に適い、必要か必要でないかを判断した上で、許可をしている。

浜益交通運輸

我々のような事業者は、全部許可を取って、運送事業を行っている。このような許可は我々事業者への営業妨害に当たる。市からの委託を受けているとはいえ、実際に運行しているのは、タクシー事業者であるにも関わらず、自家用車での運行を認めるということは、納得できない。

佐々木会長

今の話は、運送法の許可をする、しないのレベルの話で、この場でする話ではないと思います。それについては、運輸支局さんの許可基準に沿って、行なわれていますので、もし、ご質問等があれば、また別の場で運輸支局さんとお話しして頂ければと思います。

浜益交通運輸

もう少しだけ。要するに、市であろうと、自家用で許可を出していたら、ハイヤー業が成り立たない。地域のためにやっているのは分かる。ただ、青ナンバーの許可を受けるべき。

小林副会長

ここでする話とは違うと思うが、あくまで事業者に許可をしている訳ではない。

佐々木会長

それ以上お聞きしたいということであれば、別途、運輸支局さんの方にお問い合わせしたい。

「(2)要綱の一部改正について」を資料2により説明。

事務局(説明)

昨年10月1日の組織編成(企画財政部と経済部の統合)に伴う、部の名称変更。

「企画財政部」を「企画経済部」へ改める。

議題の概要及び質疑内容

「(1)自家用有償旅客運送の更新登録について」を資料3により説明。

事務局(説明)

本年9月を以って、登録有効期間が満了となる、「発足スクールバス」及び「浜益スクールバス」、「浜益乗合自動車」の更新登録にあたり、本会議の同意を得て、申請を行う。

については、これまでの地域公共交通会議の開催状況や、申請書類の内容を説明。

佐々木会長

このことについて、前回の会議の中で、浜益交通運輸 森山氏からスクールバス事業とタクシー業との競争を懸念する意見がでており、次回開催時に検討することとなっていましたので、市が行なう自家用有償運送について、ご意見などございましたら、お願い致します。

浜益交通運輸

売上への影響があった。

佐々木会長

浜益乗合自動車で影響を受けているということか。

浜益交通運輸

そういうこと。売上が落ちているということは、浜益乗合自動車しかない。

ただ、行政のやっていることなので、住民の足を確保するというのも大事だと思うが、営業的に影響はある。

佐々木会長

市が運行することで、特に浜益乗合自動車において、影響がでている。これについて、事務局から。

事務局

影響があるというお話ですが、バスとタクシーで、その営業形態が若干異なると思われる。タクシーは、個人の方がそれぞれ利用したい時間に利用ができ、且つ、自宅までの送迎が可能で、目的地も自由に選ぶことができるという利点がある。それに比べて、バスの場合は決められた時間での利用となり、走行する路線も限られているので、フリー乗降においても、乗車する際は、外で待っていなければいけない。利便性の違いがあるということで、事務局としては踏まえている。1年間の利用実績についても、資料1により、比較しましたが、大きな影響は発生していないと捉えている。

佐々木会長

浜益乗合自動車で特に滝川方面へ向かう方が、昔のバス運行時に比べると、1,200人以上減っている。3分の1くらいになっている。滝川へ行く交通需用そのものが、バス、タクシーを含めて減っているという、見方もできるのではないかと思う。

神田氏

従来の浜益においても、滝川方面へ行く方と札幌方面へ行く方で、地域によって、差があると思う。農村地帯の方々は滝川方面へ、海岸線の方々は、札幌方面へ。

利用実態はそれぞれ違うが、このバスを利用する方は、自家用車も持っていない、高齢の方、交通の弱者の方が多いと見ている。

また、バス利用の実態としては、医療機関に行かれる方が多いと思う。バスでしか足を確保できない方は、市のバス運行に頼らなければならない。

今後も、続けて頂きたいと地域を代表している者としては思う。

佐々木会長

先程、浜益交通運輸さんから、営業に影響が出ているという意見がありました。只今の代理出席の神田氏からは、今後とも今までのスタイルで、地域の交通弱者の方のためにも、必要なものであるという意見でした。タクシーとバス、あるいはその他の公共交通機関の競合というのは、常に付きまとう問題だと思いますが、地域の足の確保ということを考えますと、引き続き現状の形で運行を継続しつつも、浜益交通運輸さんの経営、営業に具体的で尚且つ、大きな影響が出てくる場合があれば、タクシーというのも地域の大事な足であることは間違いないですから、その時には対応策を考えていくことになると考えています。

議決の結果

佐々木会長より、更新にあたり、全会一致で同意を得られたことを確認。

その他報告概要

「(2)その他」について、事務局より報告。

事務局(報告)

1. 交通会議の委員の任期について、本年11月で満了となるが、それに伴う新委員の委嘱については、今後、交通会議の開催が必要となった段階でお願いすることを報告。
2. 札幌・浜益間の札幌線について、今年1月に北海道中央バスから、年間で約400万から600万程度の欠損が発生していることから、石狩市による赤字額の補填、若しくは、運行距離を厚田まで短縮するなどの策について、市と協議を行ってほしいという要請があり、市としては、先月の8月18日から昨日の31日までの14日間、バス社内にて利用者から利用実態について、聞き取り調査を実施。

その結果なども踏まえながら、北海道中央バスと協議を行っていく考えを示した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成20年 月 日

会 長